

2017年度 金城学院幼稚園

No. 14

こども

発行

11/29

ニュース

今週の礼拝は、「アドベントⅡ」。クランツの二本目のロウソクに灯をつけて、礼拝を守ります。

子どもたちの口から、「アドベントカレンダー」の話聞いたおうちの方もいるのではないのでしょうか。今年の幼稚園のアドベントカレンダーは、天使の飾りを一人ひとつ作りました。アドベントに入って一週間が経ち、アドベントカレンダーを飾ることに慣れてきた子どもたちの口からは、「今日は誰が飾るのかな」「僕はいつ飾れるんだろう……」そんな声が聞こえてきます。自分の飾る番を楽しみに待つ姿、友達の順番を一緒に待つ姿があります。

先日、子どもたちと「誰かのお誕生日の前って、ドキドキしない？」という話をしました。子どもたちは、「うん、分かる！」「おめでとう！って言いたいもんね」「お祝いしたくなるからだよ！」「あと何回寝たらって数える！」と、口々に返してくれました。

今回のこどもニュースでは、クリスマスに向けての「ハレルヤ」の様子をお伝えします。クリスマスに向けての子どもたちのドキドキワクワクを感じていただくと嬉しいです。

天使の飾りが一つ増える度にだんだんと近づいてくるクリスマス。イエスさまのお誕生を子どもたちと一緒にドキドキしながら、指折り数えて待ちたいものです。

(ゆか)





☆ハレルヤがはじまりました！！☆



登園して「おはよう」と言う前に「きょう、わたしハレルヤある？」と聞いてくる年長さん。「あるよ！」と伝えると、「あるの？やったー！！」と喜びます。でも「今日は他の場面だから、ないよ」と伝えた時は、「えー、ないの??」とがっかりした表情を見せます。本当にハレルヤを楽しみにしている子がたくさんいます。

体操後に「今日ハレルヤがある人は名前を呼ぶので立ってください。マリアさん、ヨセフさん、宿屋さん…」とアナウンスすると、さっとその場に立ち、とっても嬉しそうな、そして少し誇らしげな表情を見せる年長さん。

遊戯室では、カーテンを閉め、まるで馬小屋のような雰囲気の中でハレルヤを行います。いつもの雰囲気とはやや違うため、子ども達の中には緊張した表情の子もいます。緊張をほぐす為に、肩を回したり、顔の筋肉をほぐしたり、発声練習をしたり、まず初めに全身の準備体操から始めます。「顔のお肉を回して…」と言うと、子ども同士、互いの顔を見合いながら笑って、少しずつ緊張もほどけていきます。

そして順番にセリフや歌を歌っていきます。いつもは大きな声で話す子ども達も、自分のセリフの番になると、やはり緊張するようで、声が小さくなってしまったり、身体をくねくねさせ自信なさげに動いたり、なんだかいつもの元気いっぱいの子も達とは違います(笑)それもそのはず、長いセリフや難しい言葉、みんなの前で歌を歌うなど大人でも緊張します。でも自分の番が終わると、ほっとするようで足を組んでみたり、あくびをしたり、近くの子とヒソヒソ話をしたり・・・そんな姿もまだまだあります。でもそれだけ緊張感を持って臨んでいるのだと思います。ハレルヤの最後には今日のハレルヤはどうだったか聞くと、「〇〇ちゃんのうたがじょうずだった」「〇〇くんのこえがおおしくてよかった」など嬉しい意見がたくさんです。自分のことを友だちが褒めてくれることで、自信をつけていく子ども達。今後ハレルヤを行う中で、自分の役をより一層好きになり、この役を与えてもらえて良かったと思える日がきてほしいと願っています。

讚美礼拝当日は、厳かな雰囲気の中、子ども達とおうちの方たちみんなで心をつにし、イエス様のご降誕をお祝いし、神さまに礼拝を捧げたいと思います。

(AK♡)



ねんちゅうあつまり



運動会後のあつまり

運動会で分かれていた、赤チーム・白チームはそのまま継続し、二つのグループに分かれて活動しています。10月後半から11月前半にかけては、『芸術の秋』ということで、さまざまな絵画技法を伝え作品を作ってみました。それぞれに得意なことや少し苦手なことがあり、一人ひとりの特徴がよくわかりました。そんな中懸命に取り組んでいく姿は素晴らしいなと思いました。

デカルコマニー

紙に絵の具を塗り、二つ折りにして、不定形で偶然のイメージを得る画法。どの子も楽しんで作っていました。紙を広げた時の不思議感が面白いのでしょうか。中には、左右対称になっていることに気づき、見比べて確認していた子どももいます。こういった遊びから、図形への関心などが生まれるのでしょうか。

その後、その偶然にできた形から何かをイメージして、サインペンで足し絵をしました。「あ！あ～！ここがクマに見えてきた！」「これね、お父さんの顔、こっちは少し小さいからお母さん」など楽しいおしゃべりをしながら描いていきました。しかし！イメージがつかめない子は全くペンが進みません。「何にも見えない・・・」「何を描いたらいいかわからない・・・」と言ひ、四苦八苦。自由な発想ほど難しいものはないですね。自分で考える力を身につけたいものです。

スクラッチ画

あらかじめ下塗りした色の上に違う色を塗り重ね、その後、上の色をひっかいて削り取り、下の色を出す絵画技法。こちらでも楽しく作ることができました。「魔法の紙を作ろう！」と話すとき、みんなワクワク！ポイントは、白い紙に、隙間なく力強く色を塗ること、下塗りの色を選択することです。削ったとき出てくる色が鮮やかに見えるように考えます。ひっかくものは、今回割り箸を鉛筆のように削ったもの

を用いました。この時のポイントは、筆圧。弱いとうまく削れません。強すぎると、下の色まで削ってしまいます。うまくコントロールしながら、細かく好きな絵を描きました。

スタンプ画

○△□を使ってスタンプを楽しみました。運動会の看板作りでも経験はありますが、今度は構成することにポイントをおいて制作してみました。また、スタンプの貸し借りがうまくできるように、どんな言葉を掛けたらいいのかな？と考えることもできました。しかし、初めてのお友達に「貸して♡」の一言が言えない子どもも多く、自分から声をかけることのハードルの高さを改めて思いました。様々な人とのかかわりは大切ですね。

クリスマスに向けて

11月中旬から、年長児がクリスマスに向けて活動を始めました。配役が決まり、クラスで発表を聞くと年中児も気持ちが高まります。

「○○くんは天使さんだって」

「○○ちゃんはローマ兵さんなんだ」

「私は何にしようかな？」

「えっ？年中さんはみんな聖歌隊だよ」なんていう会話も聞こえてきました。

そんな中、まずは『聖書物語』の挿絵を見ながら話を聞き、クリスマスの本当の意味を知ることができました。イエス様の誕生の様子も昨年の讃美礼拝を思い出しながら、しっかりと耳を傾けて聞いてくれました。場面ごとに4回に分けて話したのですが、前の会にお休みの子がいるので「今までのお話を思い出してみよう」と質問をしながら振り返ってみました。ほとんどの子どもがよく覚えていて、その興味深さに感心しました。

そしていよいよ聖歌隊の練習です。「いい声を出すには、3つのことに気をつけてみよう！」と、話しました。しっかり聞いて覚えているかな？ちょっとお家で聞いてみてください♡集中して話を聞き、楽しんで歌っている子どもがいる中、なかなか興味が持てない子どももいます。しかし『年中になったから聖歌隊ができるよ！』という嬉しい気持ちもいっぱいです。そんな気持ちを引き出しながら、見守っていきたいと思います。聖歌隊さんとして頑張っていく年中さんにエールを送ってあげてくださいね。

(3つのポイント⇒答えは次回のこどもニュースで♡)

